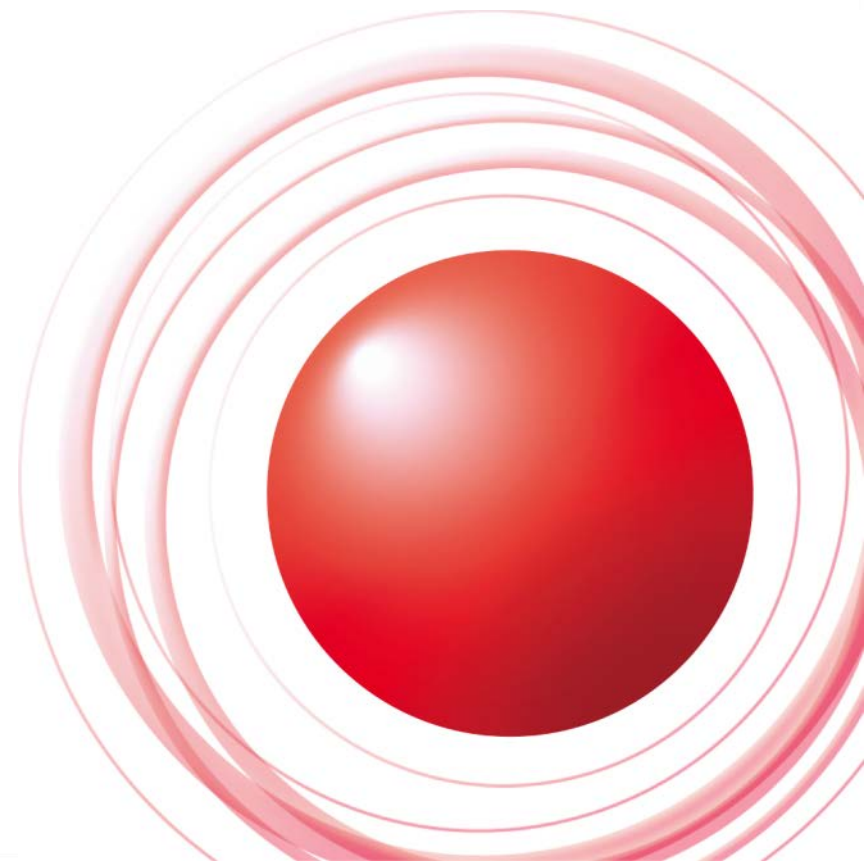


2016年3月期 第3四半期 連結業績説明会



株式会社インターネットイニシアティブ (証券コード:3774)
2016年2月9日

Ongoing Innovation



アジェンダ

I . 2016年3月期 第3四半期 総括

II . 2016年3月期 第3四半期 連結業績

III . ご参考資料

I. 2016年3月期 第3四半期累計期間 総括

継続増収でコスト増を吸収、想定どおりの増益推移

%: 前年同期比
 回線数: 15年12月末時点
 QoQ=前四半期比
 YoY=前年同期比

	< 3Q15累計実績 >		< FY15通期見通し >	
売上高	993.8億円	+13.1%	1,390億円	+13.0%
売上総利益	177.9億円	+8.2%	251億円	+13.7%
営業利益	40.7億円	+7.6%	65億円	+28.1%
当期純利益	25.7億円	+11.2%	40億円	+20.4%

モバイル	SI	セキュリティ
<p>個人好調・MVNE加速で回線数100万超へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 総回線数: 107.3万(+13.9万 QoQ) 2Q純増数(+12.3万 QoQ)より伸び増加 ➢ 個人回線数: 68.5万(+8.0万 QoQ) SIMフリー端末ラインアップ拡充、販路継続拡大・OTA対応店舗増加、プリペイド販路拡大中(駅中コンビニ他) ➢ MVNE回線数: 18.2万(+4.6万 QoQ) 2Q純増数(+3.2万 QoQ)より大幅伸長、MVNE先 約100社(CATV、メーカー等) 	<p>構築案件獲得・クラウドでSI運用伸び顕著</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ SI構築: サービス・製造・金融・公共等万遍に需要獲得、クラウド案件SIも多数 ➢ SI運用: 3Q15累計売上 +21.0% YoY うちプライベートクラウド +21.6% YoY <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業法人積み上げ、SAP・Microsoft等協業案件も好調 ・ P2で大型案件含み引き合い200件規模へ ・ FXサービス 3Q15累計売上+54.3%YoY 	<p>漏洩・標的型攻撃等への継続需要</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ CSIRT(*)構築、コンサル、FireEye等構築運用等のSI需要 ➢ サンドボックス等GW型サービス、DDoS対策サービス等の導入 ➢ 仮想デスクトップによる安全なインターネット接続環境との大型案件等 ➢ サイバーセキュリティ基本法施行、マイナンバー導入等追い風 <p>(*)Computer Security Incident Response Team</p>

積極事業展開で事業規模継続拡大を展望

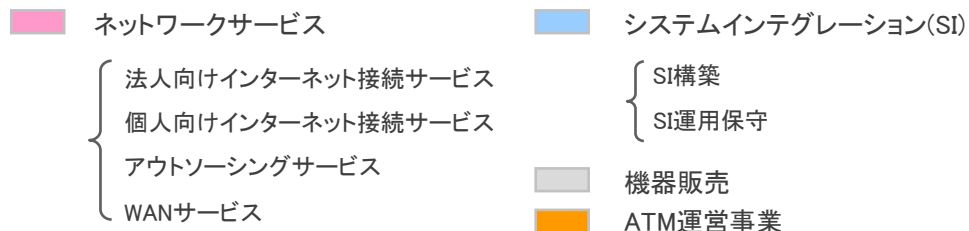
国際事業	サービス開発	新たな取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ■ クラウド合弁事業: インドネシア(15年1月)、タイ(16年1月)で現地大手とパートナー運営 ■ コンテナDC: ラオス実証事業(16年1月~)でコンテナ輸出、他複数国引き合いも 	<ul style="list-style-type: none"> ■ IIJ Omnibus: SDN・NFV技術活用、将来のNWサービスの礎(15年9月~) ■ IIJ GIO インフラストラクチャーP2: ハイブリッドクラウド基盤、企業の本格利用促進(15年11月~) ⇨ 提供機能順次拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 配信: 4K化に向け映像伝送IP化支援ソリューション(15年11月~)、ハイレゾ音源ストリーミングサービス(15年12月~) ■ スマートメータ: 電力自由化に向けBルートデータ関連ソリューション

Ⅱ-1. 2016年3月期 第3四半期累計期間 実績サマリー

単位: 億円

	売上高比	売上高比	前年同期比 増減	売上高比
	3Q15累計 (15年4月～15年12月)	3Q14累計 (14年4月～14年12月)		FY15見通し (15年4月～16年3月)
売上高	993.8	878.5	+13.1%	1,390
売上原価	82.1% 815.9	81.3% 714.0	+14.3%	81.9% 1,139
売上総利益	17.9% 177.9	18.7% 164.5	+8.2%	18.1% 251
販売管理費等	13.8% 137.2	14.4% 126.6	+8.4%	13.4% 186
営業利益	4.1% 40.7	4.3% 37.9	+7.6%	4.7% 65
税引前 四半期純利益	4.2% 41.8	4.4% 38.9	+7.4%	4.6% 64
当社株主に帰属する 四半期純利益	2.6% 25.7	2.6% 23.1	+11.2%	2.9% 40

Ⅱ-2. 営業収益(売上高)の推移



単位: 百万円

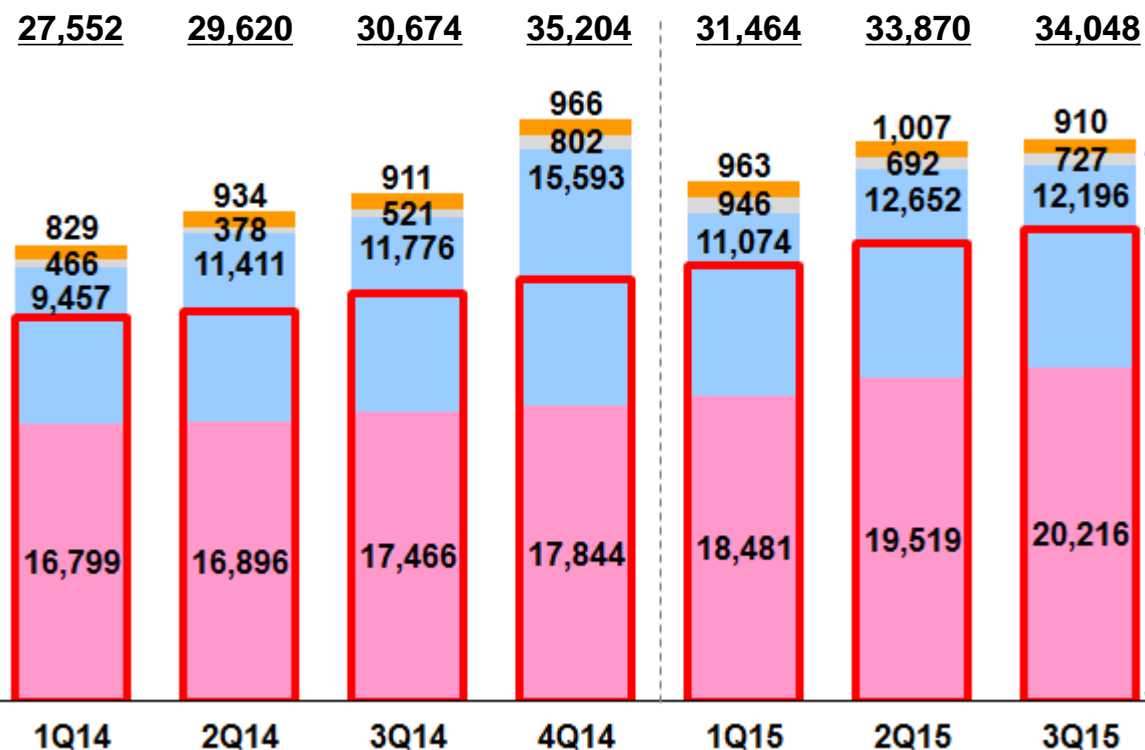
YoY=前年同期比

() 前年同期比

3Q14累計: 87,846 (+6.2%)

FY14: 123,050 (+7.7%)

3Q15累計: 99,382 (+13.1%)



一時売上*

3Q15累計: 13,912百万円(+0.4% YoY)
 3Q14累計: 13,859百万円(+8.2% YoY)
 (3Q15累計売上構成比: 14.0%)

* 検収時(システムが完成し引き渡すタイミング)に一括計上される売上

- ①SI構築
- ②機器販売

ストック売上*

3Q15累計: 82,590百万円(+15.8% YoY)
 3Q14累計: 71,312百万円(+ 5.1% YoY)
 (3Q15累計売上構成比: 83.1%)

* 継続提供にて月次計上される恒常的売上

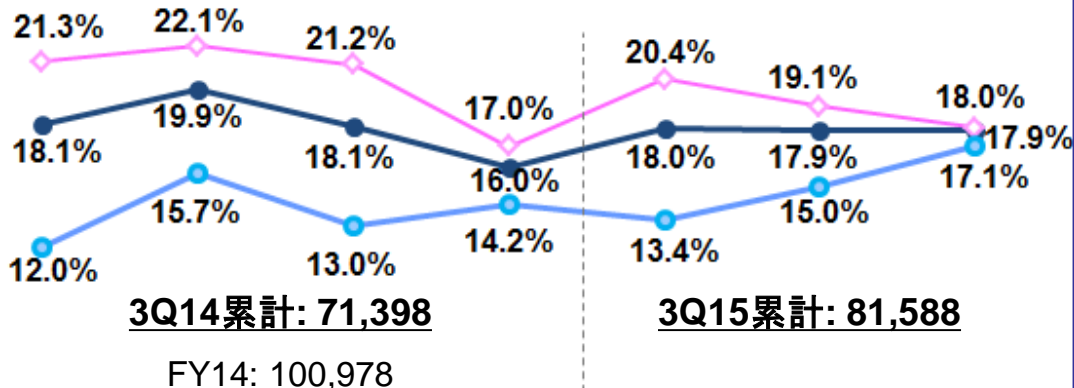
- ①インターネット接続サービス(法人・個人)
- ②アウトソーシングサービス
- ③WANサービス
- ④SI運用保守

Ⅱ-3. 売上原価・売上総利益率の推移

売上原価 ネットワークサービス システムインテグレーション(SI) 機器販売 ATM運営事業
 売上総利益率 ネットワークサービス システムインテグレーション(SI) 全体売上総利益率

単位: 百万円

YoY=前年同期比

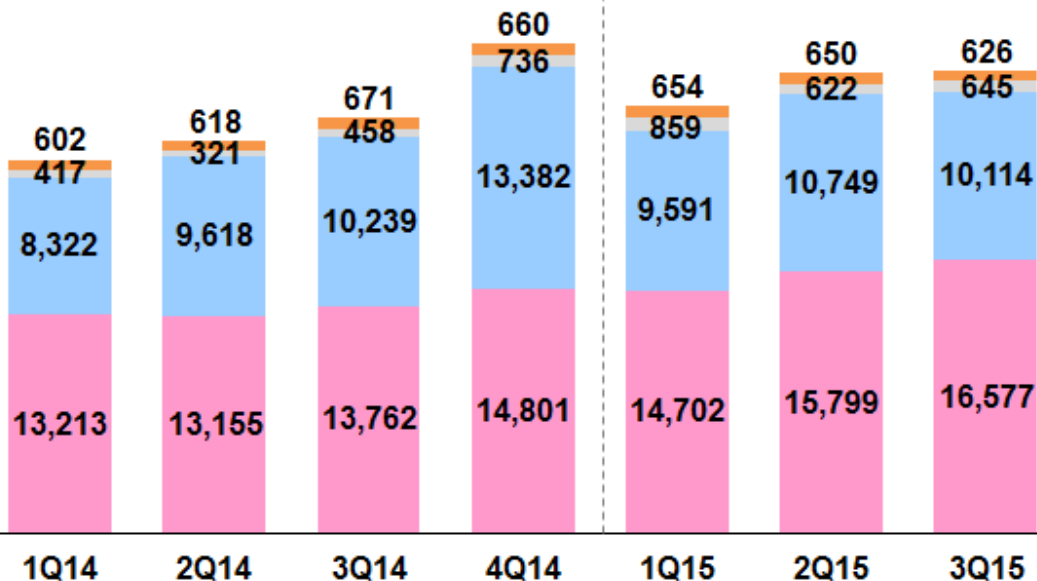


3Q14累計: 71,398

3Q15累計: 81,588

FY14: 100,978

22,554 23,713 25,130 29,580 25,805 27,821 27,962



3Q15累計売上総利益

◆全体

- ▶ 売上総利益: 17,793百万円(+1,345百万円・+8.2% YoY)
- ▶ 売上総利益率: 17.9%(△0.8ポイント YoY)

◆ネットワークサービス

- ▶ 売上総利益: 11,137百万円(+106百万円・+1.0% YoY)
- ▶ 売上総利益率: 19.1%(△2.4ポイント YoY)
- ▶ モバイル売上、特に音声売上増加により粗利低減傾向
- ▶ 4Q14はモバイルデータ通信料の過年度・当年度分遡及費用計上371百万円があり、ネットワークサービス原価過大
- ▶ モバイルデータ通信料の過年度遡及減額・四半期変動を平準化^(※)したネットワークサービスの実質粗利率推移は以下の通り:

単位: %

	1Q14	2Q14	3Q14	4Q14	1Q15	2Q15	3Q15
粗利率	20.7	20.3	20.6	19.0	19.0	19.1	18.0

(※)1Q15の約2.7億円、2Q14の約2.9億円の一時的費用減影響を除外し、FY14において期中通じデータ通信料前期比23.5%減(最終確定値)を適用し計算

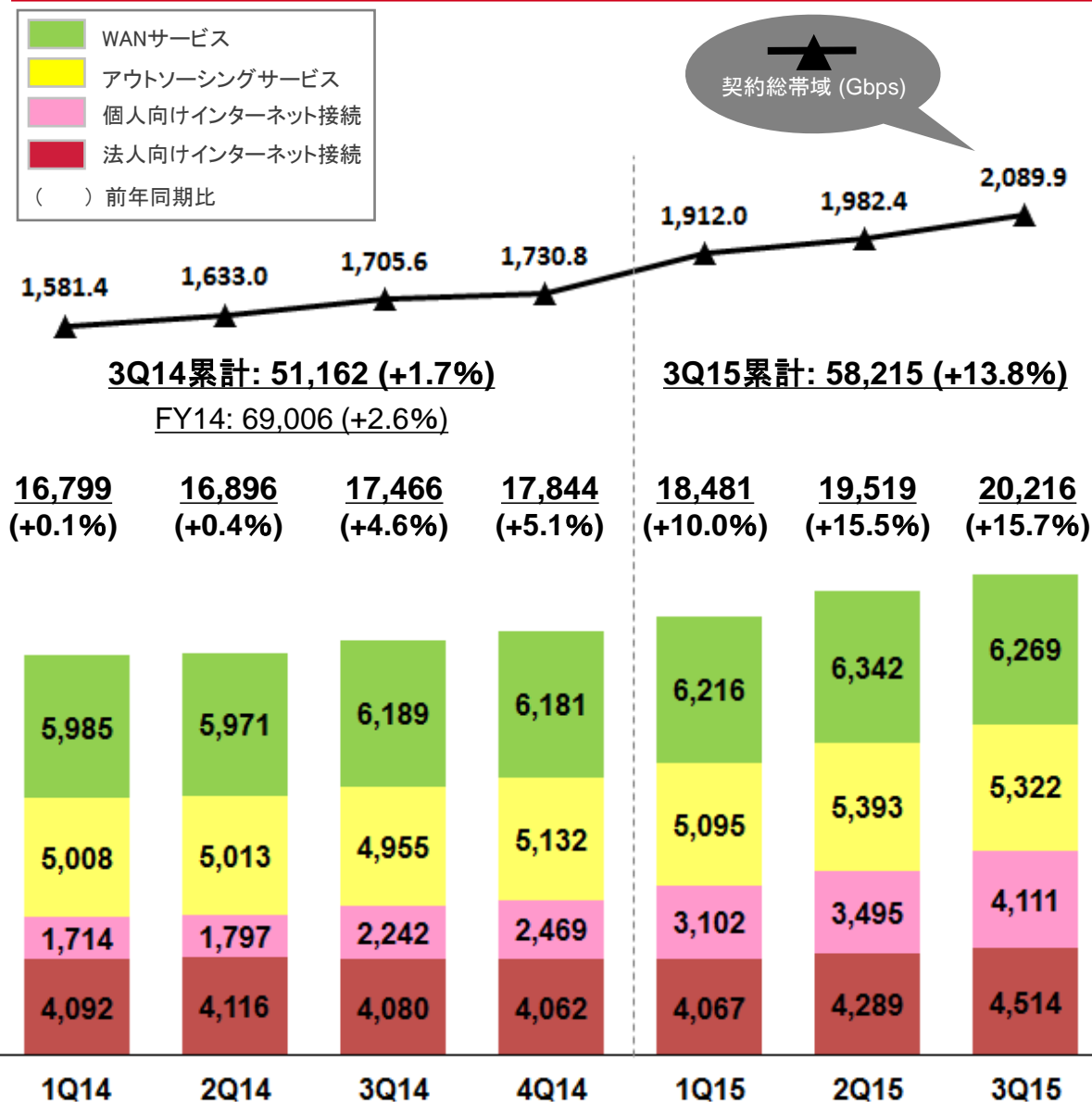
◆SI

- ▶ 売上総利益: 5,467百万円(+1,002百万円・+22.4% YoY)
- ▶ 売上総利益率: 15.2%(+1.5ポイント YoY)
- ▶ クラウド売上含むSI運用保守積み上げ、SI構築粗利改善等で粗利率向上

◆ATM運営事業

- ▶ 売上総利益: 950百万円(+167百万円・+21.3% YoY)
- ▶ 売上総利益率: 33.0%(+3.7ポイント YoY)と安定高推移

Ⅱ-4. ネットワークサービス ① 売上高の推移



◆ 法人向けインターネット接続

- 3Q15累計: +582百万円・+4.7% YoY
- 3Q15: +434百万円・+10.6% YoY
 - ・MVNE好調にてモバイル売上継続伸長
 - ・IPサービス増収基調継続

◆ 個人向けインターネット接続

- 3Q15累計: +4,955百万円・+86.1% YoY
- 3Q15: +1,869百万円・+83.3% YoY
- IIJmio高速モバイルサービス継続伸長
 - ・回線数: 3Q15末 68.5万 (+34.6万 YoY・+8.0万 QoQ)
 - ・売上高:
 - 3Q15累計 76.0億円(+48.5億円 YoY)
 - 3Q15 30.3億円(+5.6億円 QoQ)

◆ アウトソーシングサービス

- 3Q15累計: +835百万円・+5.6% YoY
- 3Q15: +367百万円・+7.4% YoY
 - ・セキュリティ関連サービス・海外ホスティングサービス売上等増加
 - ・大口ゲーム顧客DC解約あり

◆ WANサービス

- 3Q15累計: +681百万円・+3.8% YoY
- 3Q15: +80百万円・+1.3% YoY

Ⅱ-4. ネットワークサービス ② 原価の推移



単位: 百万円

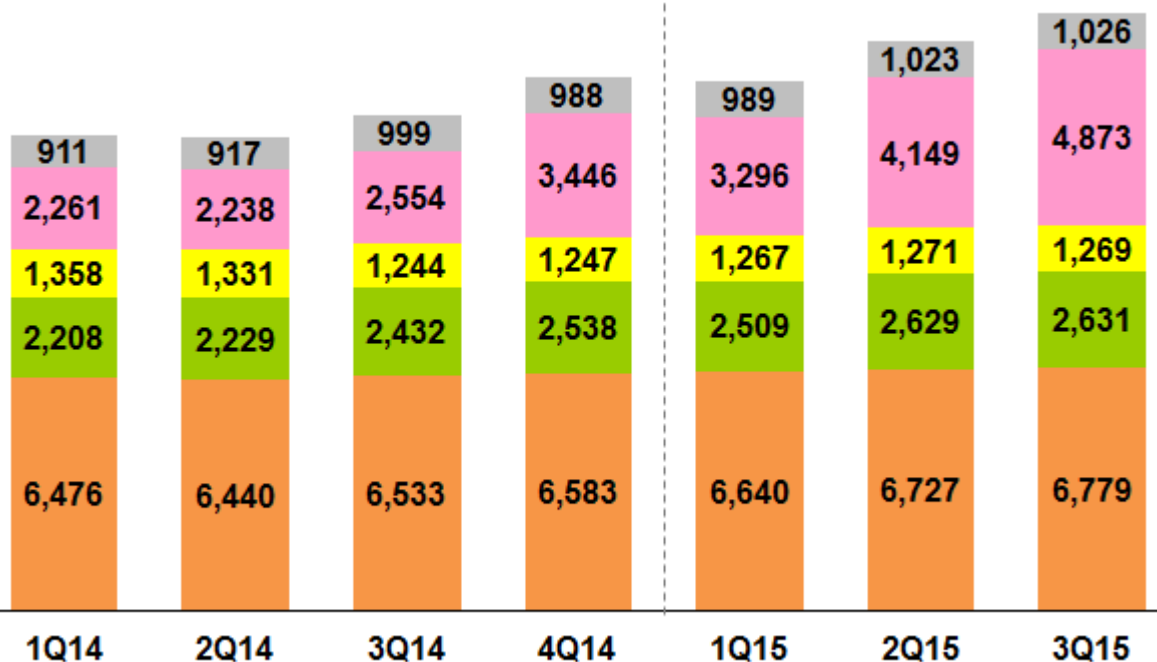
YoY=前年同期比

3Q14累計: 40,131 (21.6%)

FY14: 54,932 (20.4%)

3Q15累計: 47,079 (19.1%)

13,213 (21.3%)	13,155 (22.1%)	13,762 (21.2%)	14,801 (17.0%)	14,702 (20.4%)	15,799 (19.1%)	16,577 (18.0%)
-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------



◆ ネットワークサービス原価:

➢3Q15累計: +6,948百万円・+17.3% YoY

- ・モバイル回線数・トラフィック増加に伴い、モバイルデータ通信料(外注関連)増加
- ・設備関連費はネットワーク機器増強、新サービス関連償却費等にて+901百万円 YoY
- ・回線関連費はWAN売上増加等より、+696百万円 YoY

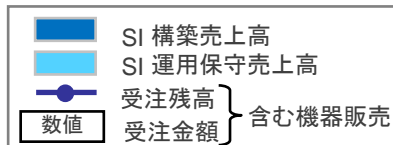
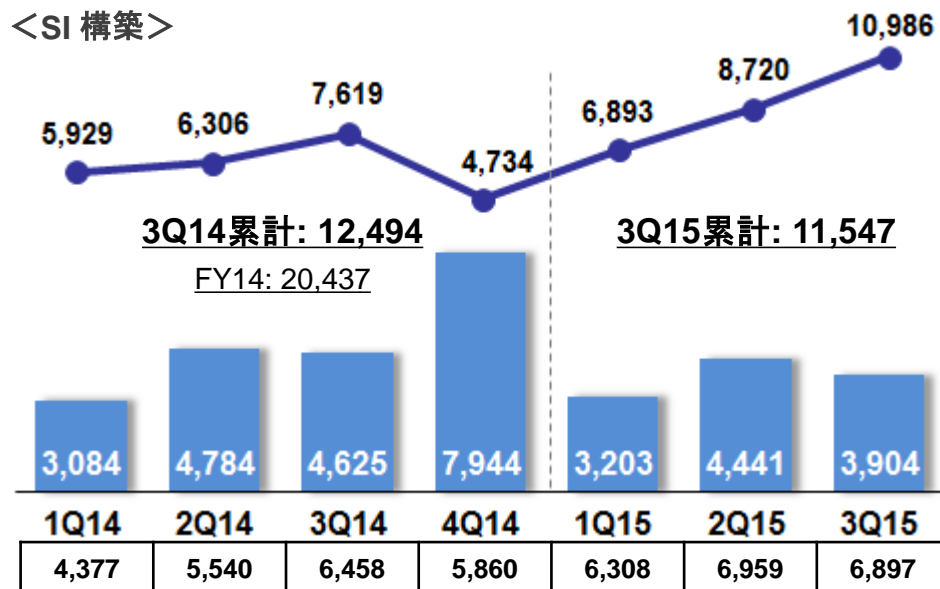
➢3Q15: +2,815百万円・+20.5% YoY

◆ MVNOに係るデータ通信料取り扱い等: (MNOの提供するモバイルインフラコスト)

- ・FY2013費用実績に基づく定額通信料(帯域単価)は15年3月に前年比23.5%減と改定
- ・FY2014費用実績に基づく定額通信料は16年3~4月頃改定見込み
- ・FY2015 モバイルデータ通信料は定額通信料前年比15%減想定で期中費用処理 (FY2015は期初より定額通信料前年比25%減での支払い猶予の請求)
- ・FY2014 モバイルデータ通信料に関し定額通信料の前年比15%減想定により1Q15に約2.7億円の一時的費用減有り、FY2014では2Q14に約2.9億円の同様費用減との実績

Ⅱ-5. システムインテグレーション(SI) ① 売上高・受注等の推移

<SI 構築>



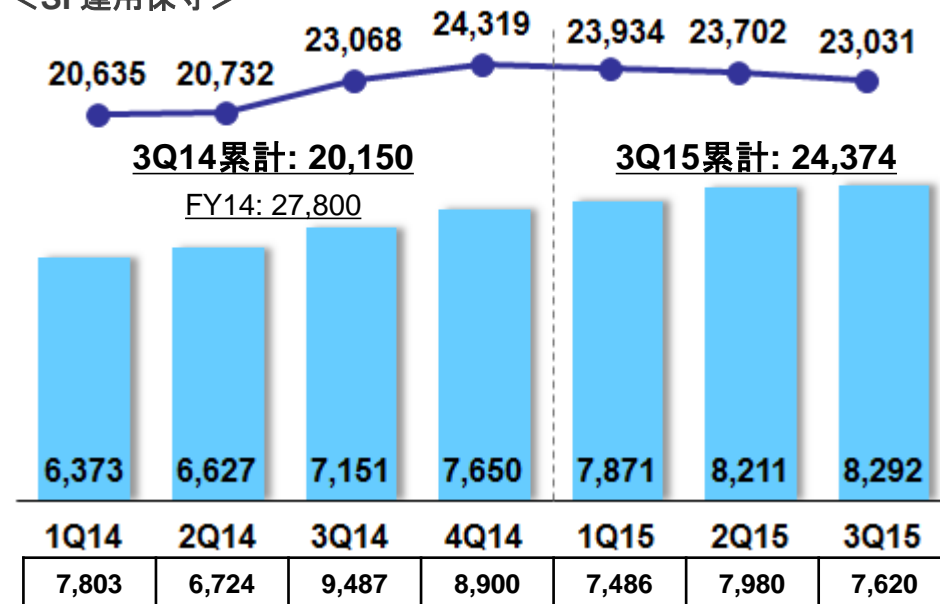
単位: 百万円

YoY=前年同期比

SI 構築売上高

- ◆ 3Q15累計売上: $\Delta 947$ 百万円・ $\Delta 7.6\%$ YoY
- ◆ 3Q15売上: $\Delta 721$ 百万円・ $\Delta 15.6\%$ YoY
- ◆ 3Q15受注: $+439$ 百万円・ $+6.8\%$ YoY
 - ▶ 景気回復傾向により、受注は引き続き好調
 - ▶ 3Q受注の大型SI案件:
 - ・大手メーカー向け電子メール情報漏えい対策システム更改
 - ・病院向けネットワーク一式リプレイス
 - ・大学向けネットワーク環境一式更改
 - ・コンテナ型データセンター海外輸出(約15億円/件) 等
 - ▶ 3Q15受注残高には、1Q15受注4Q15計上見込みの大口ネットワークインテグレーション案件(約21億円/件)含む

<SI 運用保守>



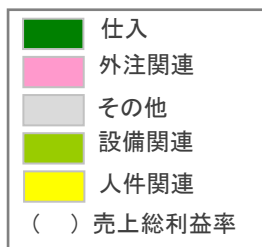
SI 運用保守売上高

- ◆ 3Q15累計売上: $+4,224$ 百万円・ $+21.0\%$ YoY
 - ▶ プライベートクラウド売上継続伸張: $+1,570$ 百万円・ $+21.6\%$ YoY
 - ▶ システム構築からの運用案件売上も強い伸び: $+2,653$ 百万円・ $+20.6\%$ YoY
- ◆ 3Q15売上: $+1,141$ 百万円・ $+16.0\%$ YoY
 - ▶ 3Q15クラウド売上全体の86%がSI運用保守に計上 (14%はアウトソーシングに計上)

<国際事業>

3Q15累計 売上 約37.4億円、損失 約 $\Delta 5.1$ 億円
 (3Q14累計 売上 約32.0億円、損失 約 $\Delta 6.8$ 億円)

Ⅱ-5. システムインテグレーション(SI) ② 原価の推移



単位: 百万円

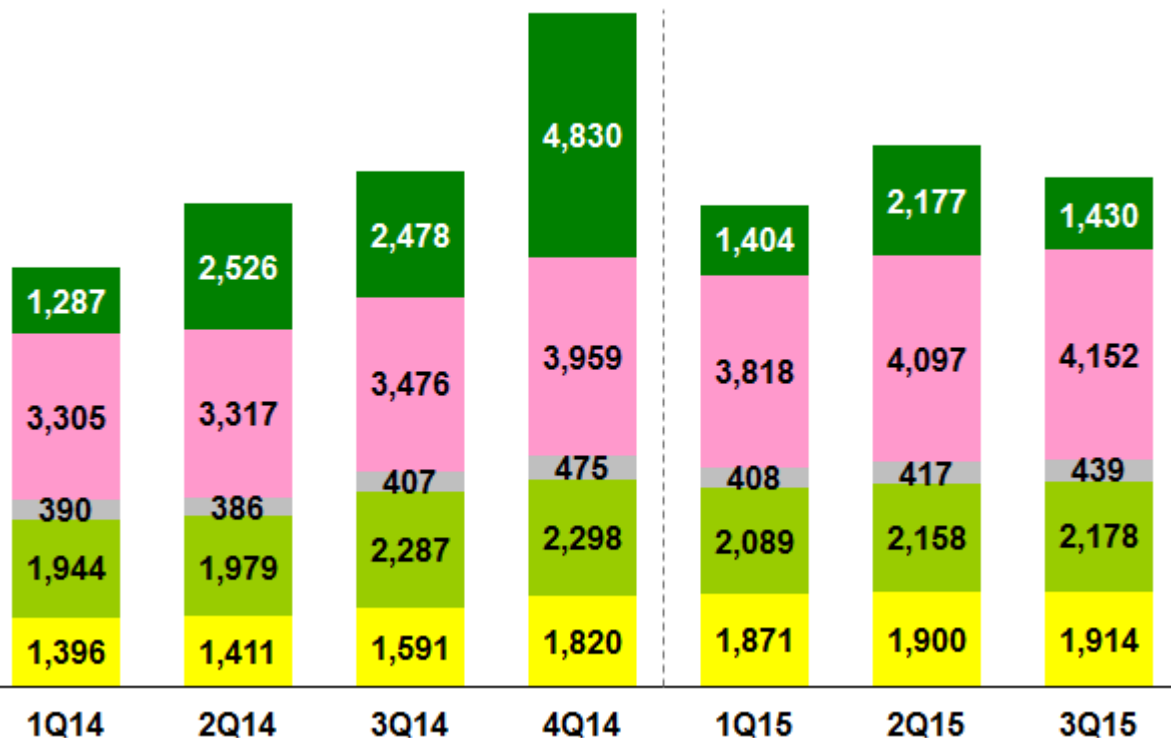
 YoY=前年同期比
 QoQ=前四半期比

3Q14累計: 28,179 (13.7%)

3Q15累計: 30,454 (15.2%)

FY14: 41,562 (13.8%)

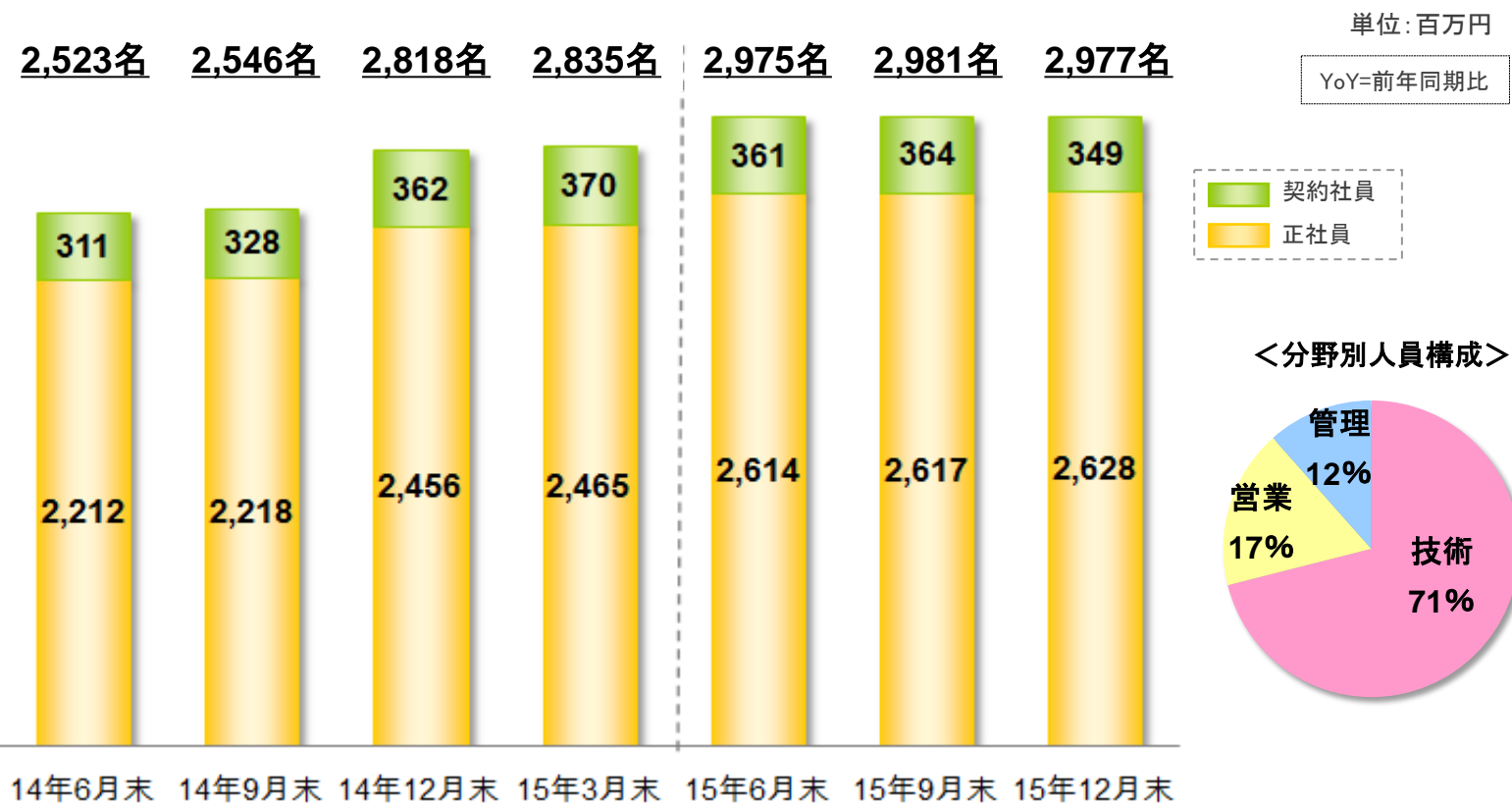
8,322 (12.0%)	9,618 (15.7%)	10,239 (13.0%)	13,382 (14.2%)	9,591 (13.4%)	10,749 (15.0%)	10,114 (17.1%)
------------------	------------------	-------------------	-------------------	------------------	-------------------	-------------------



◆ SI原価:

- 3Q15累計: +2,275百万円・+8.1% YoY
- 3Q15: △125百万円・△1.2% YoY
 - 3Q15末外注人員数: 1,020名 (+72名 YoY, +41名 QoQ)
 - 運用案件積み上がりにて外注関連費増加
 - 新サービス・ソリューション開発推進もあり外注関連・人件関連費増加
 - SI構築売上QoQ減少により仕入減少、仕入率低下より粗利向上

Ⅱ-6. 連結従業員数の推移

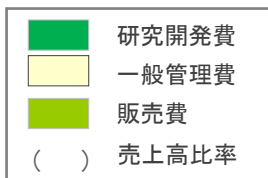


人件関連費用総額
(売上高比率)

	1Q14	2Q14	3Q14	4Q14	1Q15	2Q15	3Q15
人件関連費用総額	4,641	4,643	4,704	5,114	5,266	5,297	5,271
(売上高比率)	(16.8%)	(15.7%)	(15.3%)	(14.5%)	(16.7%)	(15.6%)	(15.5%)

- ◆ 3Q15累計総人件関連費用: 15,834百万円 (+1,845百万円・+13.2% YoY)
- ◆ 竜巧社ネットウエアM&A (14年12月1日付)により3Q14従業員数(+264人)・人件関連費用増加
- ◆ 15年4月入社新卒社員数: 155名(14年4月: 129名、13年4月: 136名)、16年4月入社新卒予定数: 128名
- ◆ 人員数は計画範囲内で推移

Ⅱ-7. 販売管理費・研究開発費(SG&A)の推移



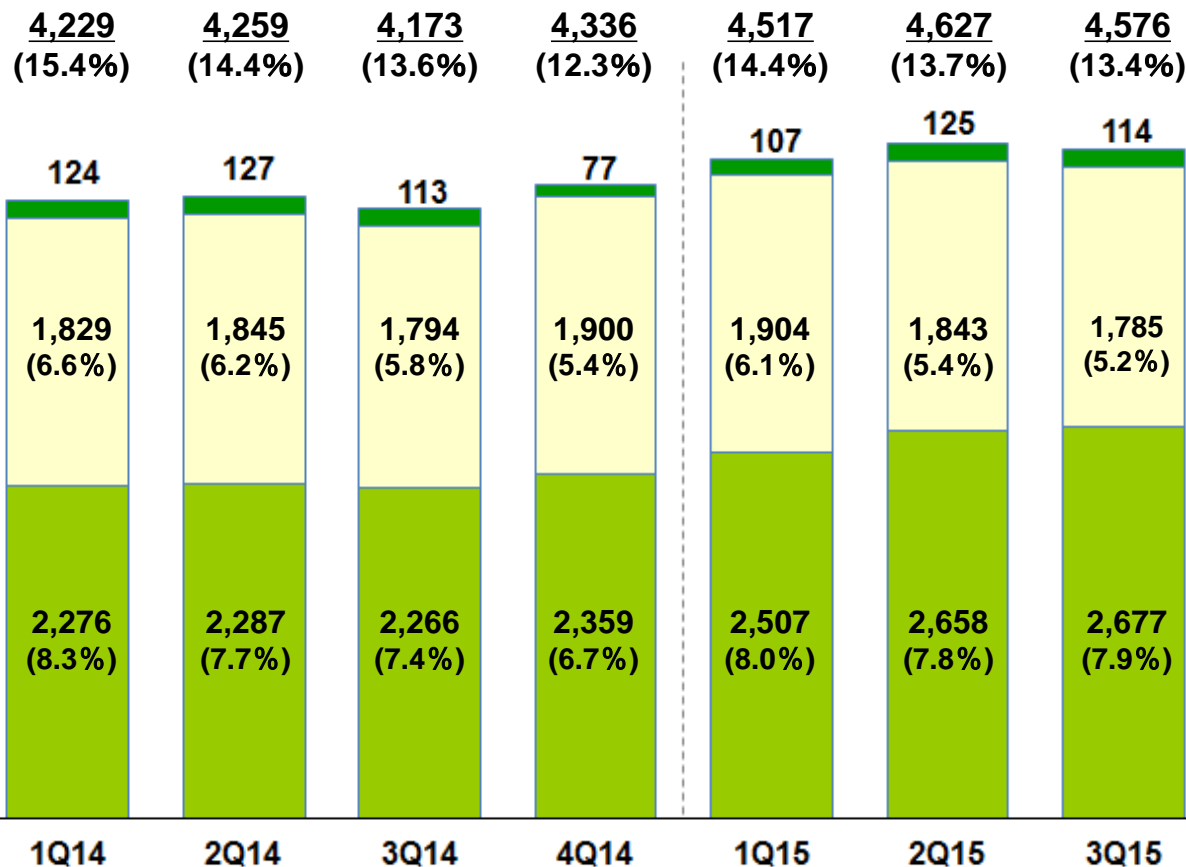
単位: 百万円

YoY=前年同期比

3Q14累計: 12,662 (14.4%)

3Q15累計: 13,720 (13.8%)

FY14: 16,997 (13.8%)



◆ 販売管理費等:

- 3Q15累計: +1,059百万円・+8.4%YoY
- ・ 人件関連費用、モバイルサービス販売手数料等増加
- 3Q15は2Q15とほぼ同水準で推移

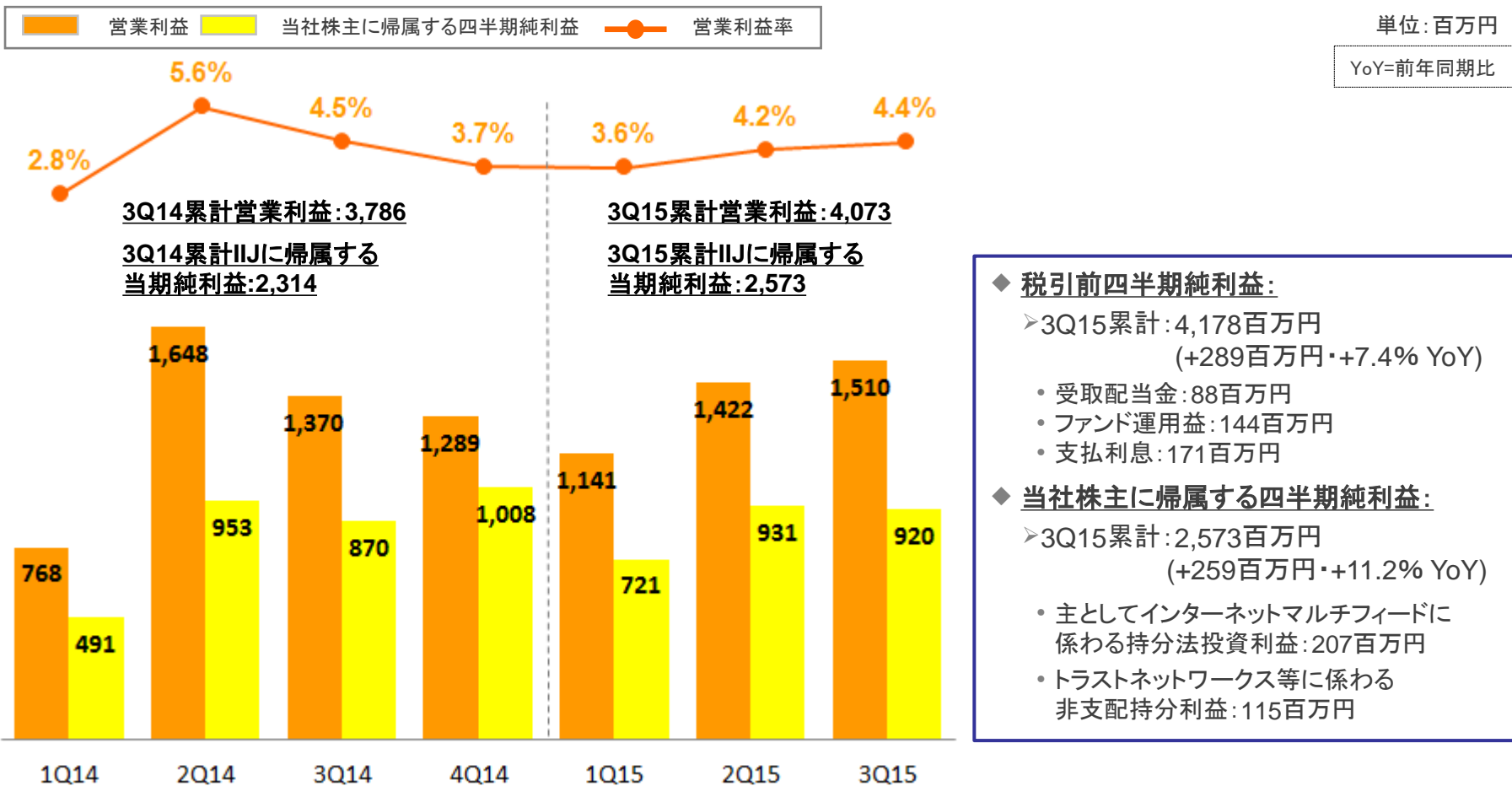
◆ ATM運営事業にかかる販売管理費:

単位: 百万円

1Q14	2Q14	3Q14	4Q14	1Q15	2Q15	3Q15
37.6	45.4	45.9	73.4	44.9	45.1	41.3

➢ 15年12月末 設置済ATM台数 1,106台

Ⅱ-8. 営業利益・当期純利益の推移



220	624	523	319	450	472	466	法人税・住民税・事業税等
132	98	36	△55	111	6	191	法人税等調整額※
34	35	46	40	61	76	69	持分法投資損益
△18	△24	△15	△18	△57	△35	△23	控除・非支配持分に帰属する四半期純利益

※法人税等調整額の△は、法人税・住民税・事業税等のマイナス

Ⅱ-9. 連結バランスシート(サマリー)の状況

	15年3月末	15年12月末	前期末比増減
現金及び現金同等物	21,094	18,234	△ 2,860
売掛金	22,252	20,226	△ 2,026
たな卸資産・前払費用(短期・長期)	7,835	12,061	+4,226
持分法適用関連会社に対する投資	2,561	2,697	+136
その他投資	6,661	6,099	△ 561
有形固定資産	29,370	33,014	+3,644
のれん・その他無形固定資産	10,111	9,820	△ 290
敷金保証金	2,800	2,809	+9
資産合計	108,705	110,602	+1,896
買掛金・未払金	13,626	12,941	△ 685
未払法人税等	499	509	+10
短期借入金	9,250	9,250	-
リース債務(短期・長期)	7,863	8,579	+717
負債合計	45,862	46,197	+336
資本金	25,500	25,509	+10
資本剰余金	36,014	36,046	+32
利益剰余金(△欠損金)	△ 556	1,006	+1,562
その他の包括利益累計額	1,939	1,774	△ 165
当社株主に帰属する資本合計	62,504	63,943	+1,439

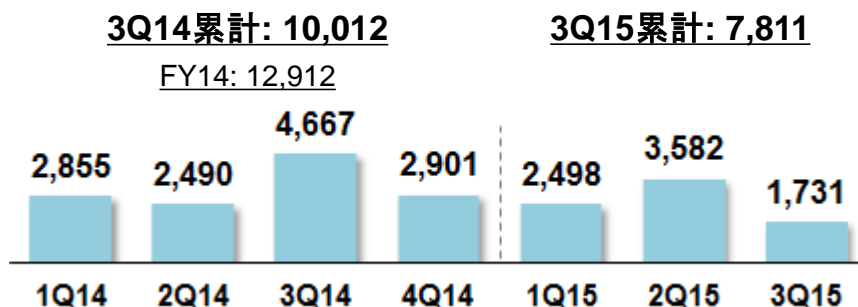
単位:百万円

▶ 当社株主に帰属する資本比率(株主資本比率): 15年3月末 57.5%、15年12月末 57.8%

Ⅱ-10. 連結キャッシュ・フローの状況

< 営業キャッシュ・フロー >

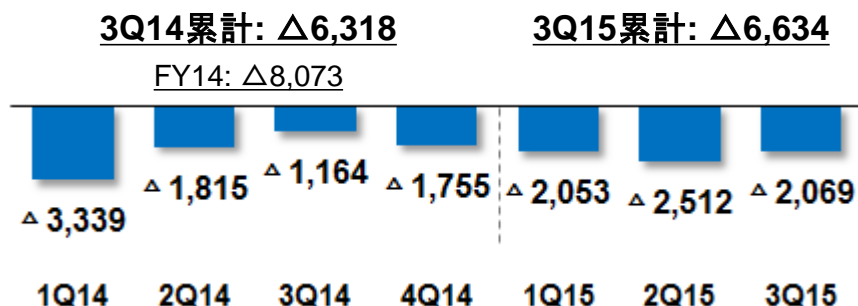
単位: 百万円



3Q15累計営業キャッシュ・フロー

	主内訳	前年同期比
四半期純利益	2,688	+316
減価償却等	7,294	+77
営業資産及び負債の増減 (FY14はフリーレントによる軽減あり)	△2,427	△2,463

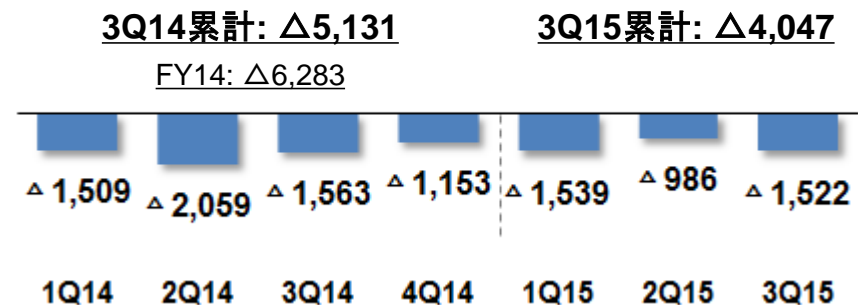
< 投資キャッシュ・フロー >



3Q15累計投資キャッシュ・フロー

	主内訳	前年同期比
有形固定資産の取得	△8,454	△1,885
有形固定資産の売却による収入	1,093	+558

< 財務キャッシュ・フロー >

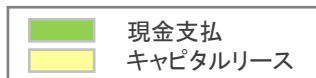
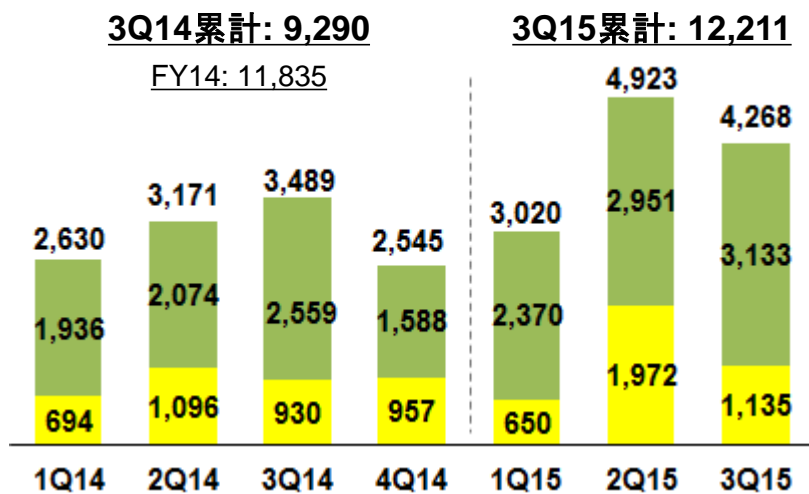


3Q15累計財務キャッシュ・フロー

	主内訳	前年同期比
キャピタル・リース債務返済	△3,040	+100
配当金の支払	△1,011	△0

Ⅱ-11. CAPEX・減価償却・Adjusted EBITDA の状況

<CAPEX (キャピタルリースを含む)>

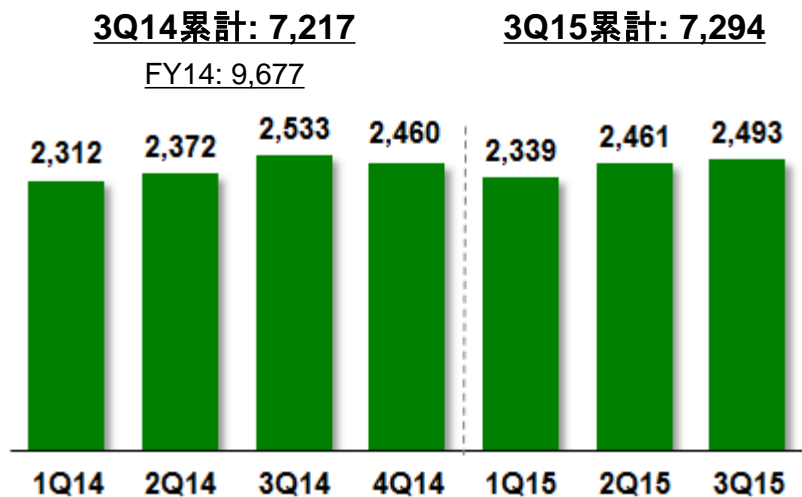


単位: 百万円

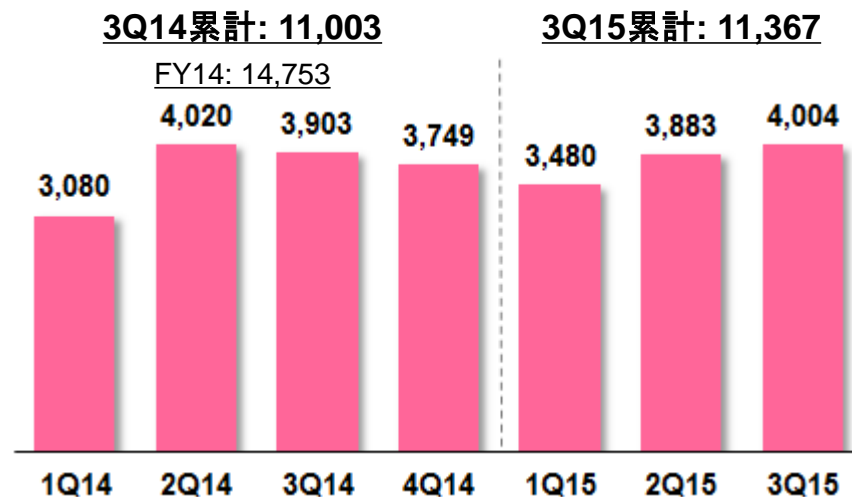
<CAPEX内訳(単位: 億円)>

	FY13	FY14	3Q15 累計
CAPEX合計	126	118	122
ネットワークサービス関連、 バックオフィス等への恒常投資他	80	89	77
クラウド関連	37	17	44
本社移転関連	4	6	-
ATM運営事業	5	6	2

<減価償却費等>



< Adjusted EBITDA (償却前営業利益)>



Ⅲ- 1. クラウドサービスの進展

IIJ GIO

クラウド関連売上

(単位: 億円)

- 大口ゲーム顧客
- 一般事業法人顧客

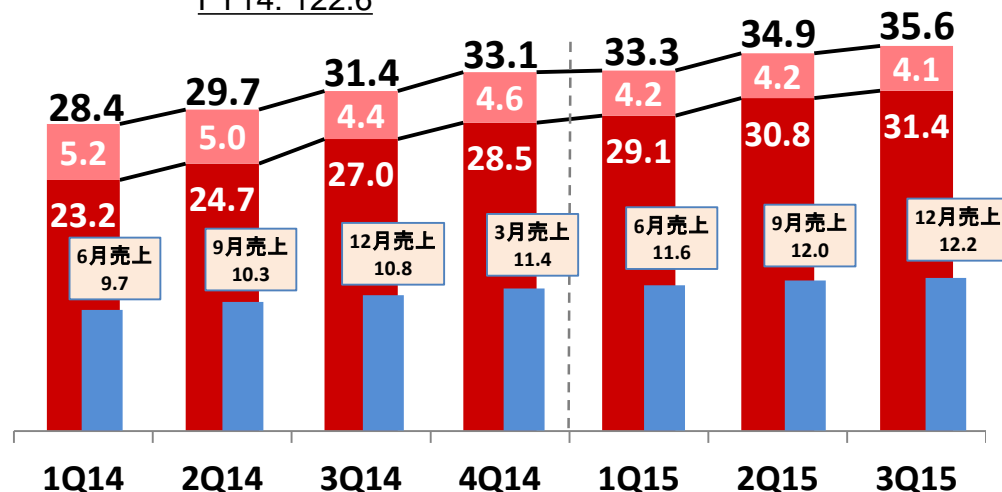
3Q15クラウド関連売上計上区分: 86% SI運用、14% アウトソーシング

() 前年同期比

3Q14累計: 89.5 (+24.5%)

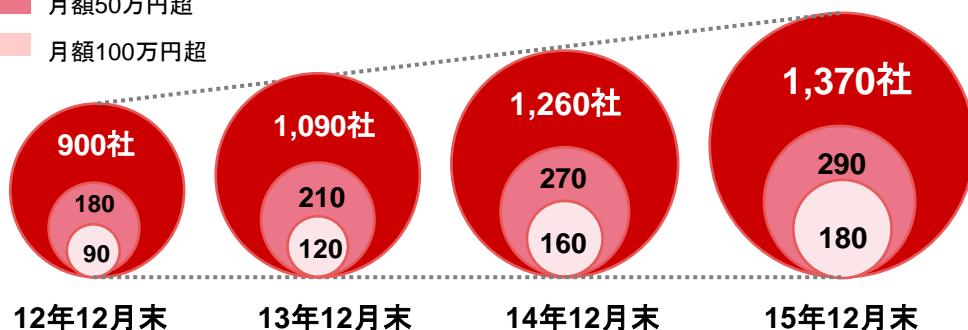
3Q15累計: 103.8 (+16.0%)

FY14: 122.6



顧客基盤

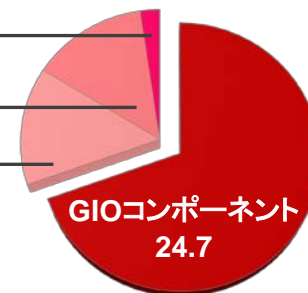
- 月額50万円超
- 月額100万円超



3Q15売上内訳

(単位: 億円)

- 汎用アプリSaaS 0.8 (サイボウズガルーン他)
- 特定業務SaaS 4.9 (FX, POS等)
- GIOホスティング 5.1



事業進捗

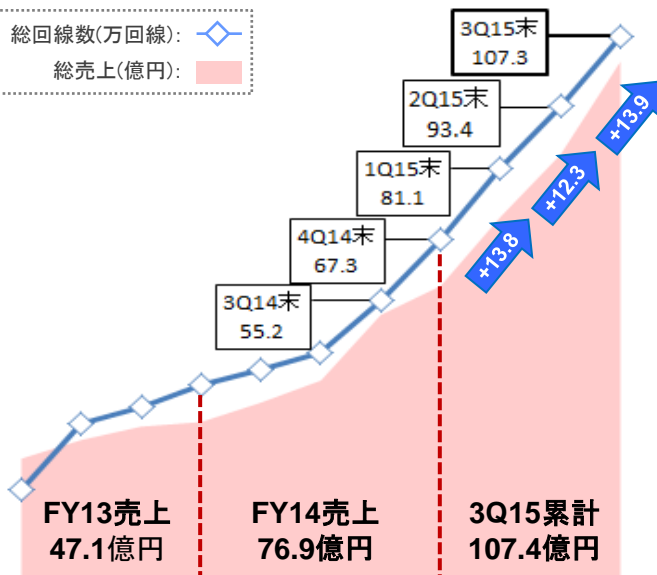
- **3Q15売上:**
 - VMware仮想化プラットフォームサービス伸び牽引
 - 大口ゲーム顧客売上規模は2Q同水準
- **IIJ GIO インフラストラクチャーP2:**
 - 15年11月提供開始
 - 月額数千万円規模の商談もあり平均単価向上にも期待、中長期で伸長
 - ▶ オンプレ基幹システムハイブリッドクラウド化、EC基幹システム新規導入リプレース、冗長構成・DR構築等
 - 引き合い傾向

引き合い件数	対象システム	顧客属性	クラウド構成
約200件 (2Q15より約倍増)	基幹システム 36%	新規顧客 45%	ハイブリッド構成 21%

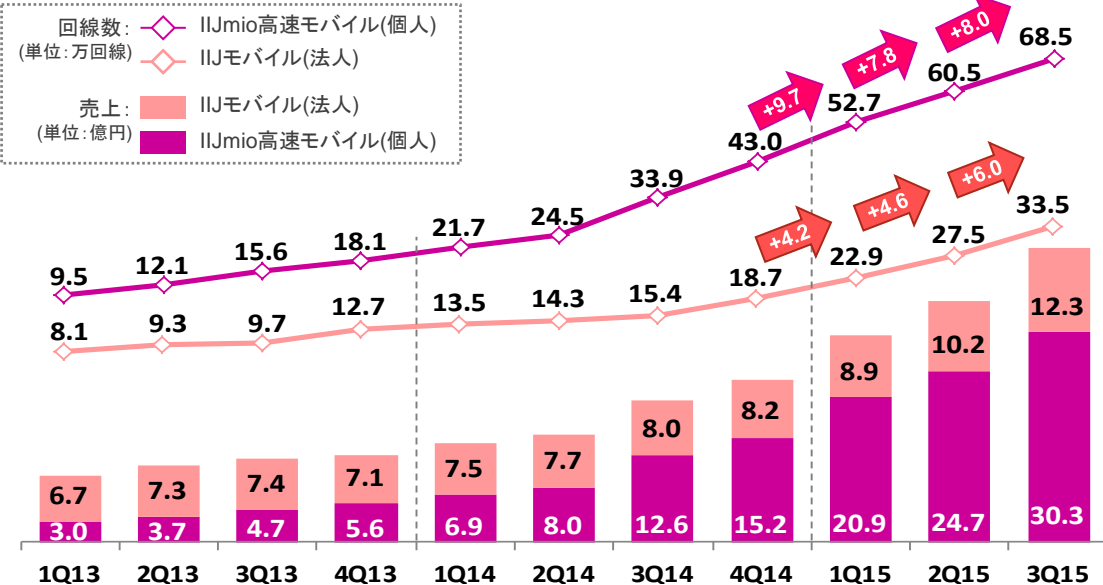
- **ビッグデータ:**
 - 予兆分析等、先進的案件の獲得
 - PwC(PricewaterhouseCoopers)との協業により、収集から分析までワンストップサービスの提供開始(15年12月)

Ⅲ-2. モバイルサービスの進捗

モバイル総回線数・総売上



IIJmio高速モバイル・IIJモバイルの回線数・売上



MVNO市場動向

政府の後押しもありMVNOへの注目度上昇

◆総務省モバイル創生プラン(一部抜粋):

- 14年10月発表:
SIMロック解除の義務化、MVNOの普及促進、通信技術開放に関するMNOとMVNOの協議促進、目標MVNO回線数: 1,500万(16年中)

◆総務省タスクフォース/方向性(案)(一部抜粋):

- 15年12月発表:
ライトユーザ向け料金プランの提供・長期利用者向け料金負担の軽減、「実質0円」端末購入補助の適正化、加入者管理機能の事業者間協議加速

個人

市場継続拡大に伴い

3Q15獲得回線数継続伸長

- iPhone6s (9月下旬)、Arrows等Android系人気SIMロックフリー端末増加、モバイル端末販売増加にて機器売上拡大
- 都心型量販店に加えSIMカード即日引渡機能対応郊外型店増加にて獲得伸長、ユーザ層に広がり

プリペイドSIM販路拡大

- 訪日外国人向けSIM、駅中コンビニ、機内・空港販売、大手量販店等順次拡大

法人

MVNE需要引続き活況

YoY: 前年同期比

- 3Q15累計関連売上: 約13.9億円(約5倍YoY)
- MVNE先 約100社、大手コンテンツ事業者等回線増加、精密部品メーカ等複数業種から引き合い

MVNE回線(*)

単位: 万回線

1Q14	2Q14	3Q14	4Q14	1Q15	2Q15	3Q15
3.5	3.6	4.0	6.7	10.4	13.6	18.2

(*) IIJモバイルMVNOプラットフォームサービス回線数(除くhiho)

M2M案件継続積み上げ

- 3Q15累計関連売上: 約4.1億円(+33.3% YoY)
- 車両トレーサビリティ・バスロケシステム・ビル監視システム・防災無線サイネージ等、案件継続積み上げ

Ⅲ- 3. 2016年3月期連結業績見通し (変更なし:15年5月15日発表)

単位: 億円

	FY15見通し	FY14実績	前期比増減	
	(15年4月～16年3月)	(14年4月～15年3月)		
営業収益 (売上高)	1,390	1,230.5	+159.5	+13.0%
売上総利益	251	220.7	+30.3	+13.7%
営業利益	65	50.8	+14.2	+28.1%
税引前当期純利益	64	51.4	+12.6	+24.5%
当社株主に帰属する 当期純利益	40	33.2	+6.8	+20.4%
一株当たり当社 株主に帰属する 当期純利益	87.07円	72.31円	+14.76円	+20.4%
一株当たり配当金	22.00円 (年間)	22.00円 (年間)	-	-

- ◆ 3Q15累計売上・利益水準は、ほぼ期初想定通り推移。
- ◆ クラウド売上は1Qからの予算乖離縮まず、コンテナ型データセンター海外輸出案件は期ずれ可能性あり。一方、SI構築は4Q偏重、モバイル・SI運用保守は期初想定を上回り推移。
- ◆ 4QにてMVNOインフラ賃借に係るデータ定額通信料(帯域あたり単価)の年度改定見込み。(前期は単価前年比23.5%減、今期は15%減で期中費用処理・織り込み)

※ 事業等のリスク

本資料には、1995年米国民事訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)の「セーフハーバー」規定に定義する「将来性の見通しに関する記述 (forward looking statements)」に該当する情報が記載されています。本資料の記載のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社グループまたは当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社グループまたは当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。現時点において想定しうる当社グループの主なリスク及び不確実性として、

- 1) 国内景気の低迷、経済情勢の変化等による企業のシステム投資及び支出意欲の低下、
- 2) サービスの利用が想定よりも進展しないまたは縮小することによる設備投資規模に対する収益性の悪化、
- 3) サービスの中断等による当社グループのサービスへの信頼性の低下及び事業機会の逸失、
- 4) ネットワーク関連費用、モバイル接続料、外注費、人件費等、費用規模の想定を超える増加及び変動、
- 5) リソース不足に起因する事業規模拡大の機会の逸失、
- 6) 競合他社との競争及び価格競争の進展、
- 7) 投資有価証券、営業権等ののれん資産の価値変動及び実現

等がありますが、これら及びその他のリスク及び不確実性については、当社グループまたは当社が、1934年米国証券取引法 (Securities Exchange Act of 1934)に基づき米国証券取引委員会に届出し開示している英文年次報告書(Form 20-F)及びその他の書類をご参照下さい。

※ お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ (財務部)

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2 飯田橋グラン・ブルーム

TEL: 03-5205-6500 URL: <http://www.iiij.ad.jp/ir> E-Mail: ir@iiij.ad.jp



Internet Initiative Japan